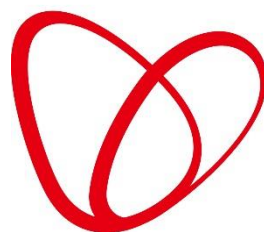




健康食品・化粧品の受託（OEM）総合メーカー



株式会社 **AFC-HD**
アムスライフサイエンス



第43期（2023年8月期）株主総会資料
（2022年9月1日～2023年8月31日）



当社を取り巻く環境

〔主軸ヘルスケア事業の市場動向〕

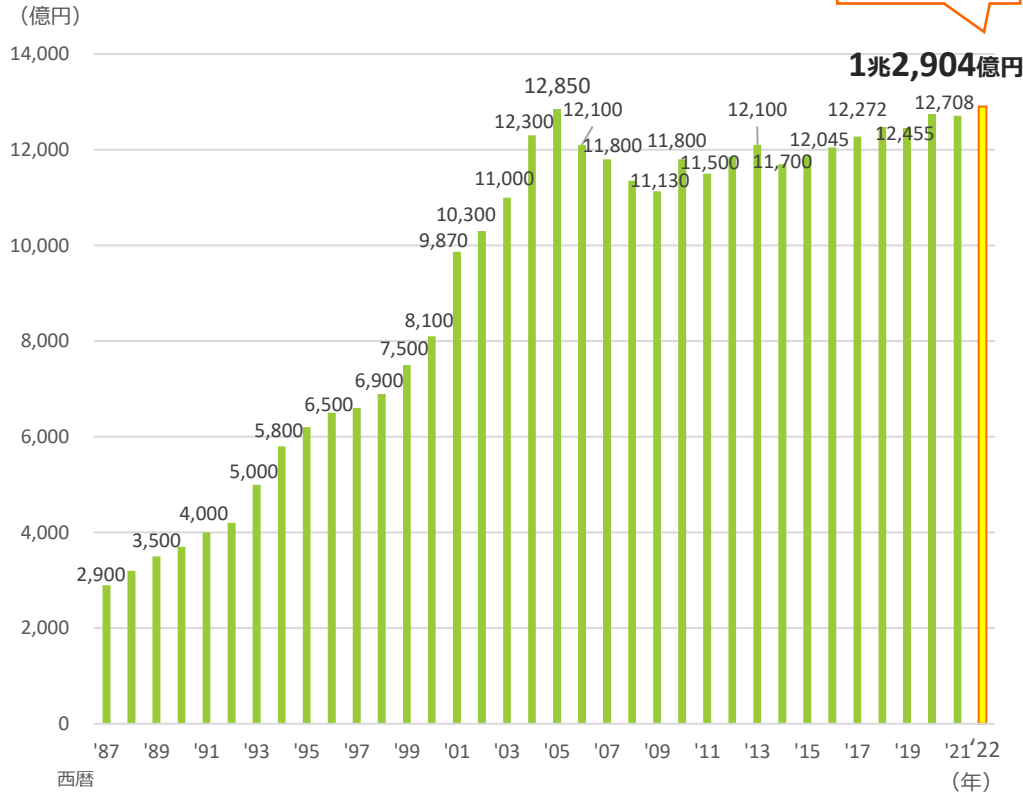
健康食品市場の動向

健康食品市場の推移

【出所：2018.12.21、2022.12.20
健康産業速報掲載】を基に当社で作成

(特保除く、機能性表示食品サプリメント含む)

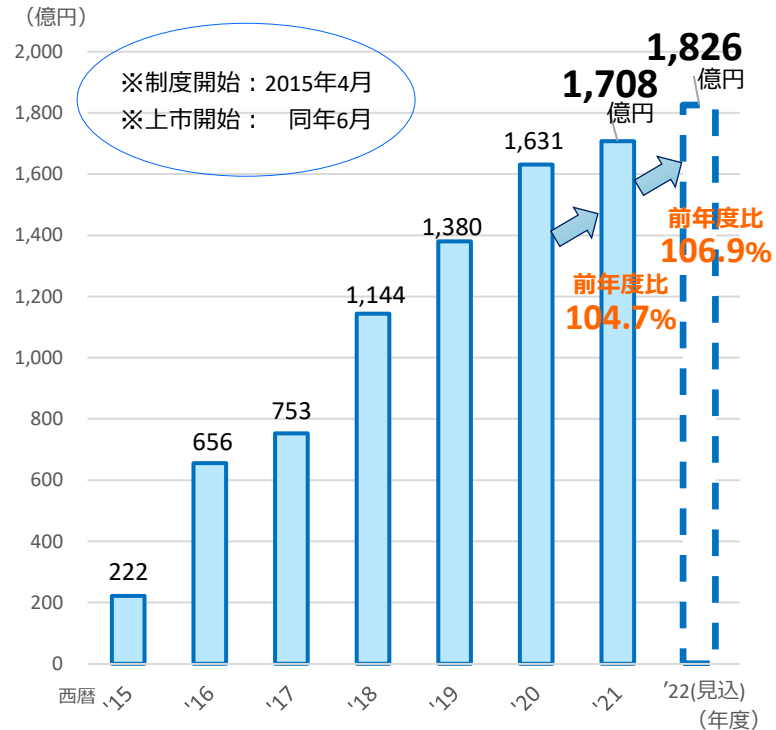
前年比
101.5%



機能性表示食品のサプリメント市場規模

【出所：2019.12.27発刊、2023.3.29発刊 2020年版、2023年版
健康食品の市場実態と展望～市場調査編～／矢野経済研究所】を基に当社で作成

* 矢野経済研究所推計



2022年の健康食品市場は、ドラッグストア等の店舗販売において、ビタミン・ミネラル・アミノ酸等のベースサプリメントやアイケア・ストレス・睡眠対応の機能性表示食品が好調な売れ行きとなり、前年比101.5%の1兆2,904億円となった。

機能性表示食品のサプリメント市場は、2021年度が前年度比104.7%の1,708億円、2022年度見込みが前年度比106.9%の1,826億円と推計される。2020年度までは大型商材の機能性表示食品化や積極的な広告展開により高い成長率で進捗した。

決算報告

決算の状況【連結】

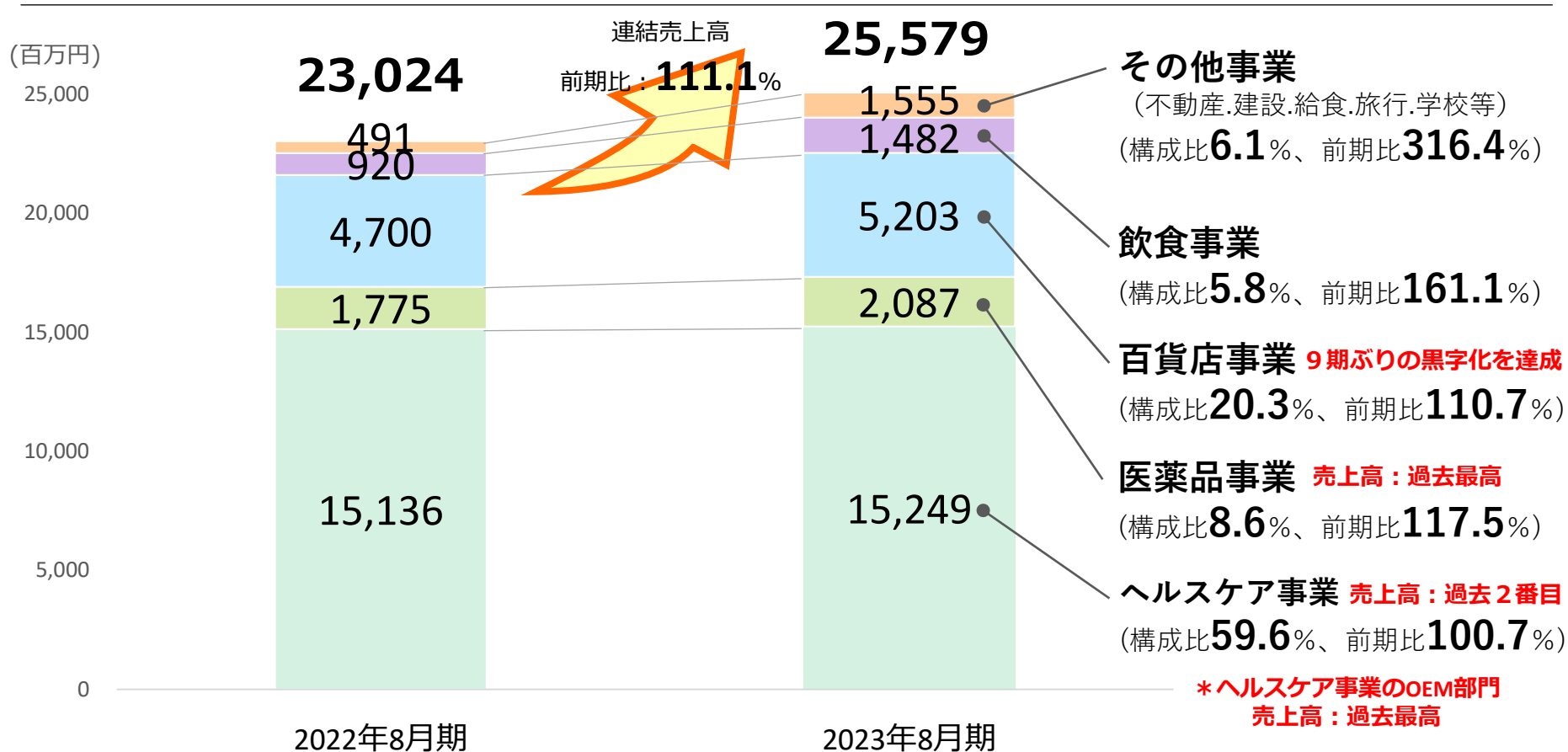
(単位：百万円)

連結	2021年8月期 実績	2022年8月期 実績	2023年8月期 実績	前期比率
売上高	22,368	23,024	過去最高売上 25,579	111.1%
営業利益	2,245	1,015	1,636	161.2%
経常利益	2,161	1,343	1,654	123.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,495	735	1,102	149.9%
経常利益率	9.7%	5.8%	6.5%	—

増収要因：好調を維持した医薬品事業が増収となったことに加え、アフターコロナにより回復基調にある百貨店事業や飲食事業が増収となった。

増益要因：増収効果により各利益が増益となった。

事業別 売上高【連結】



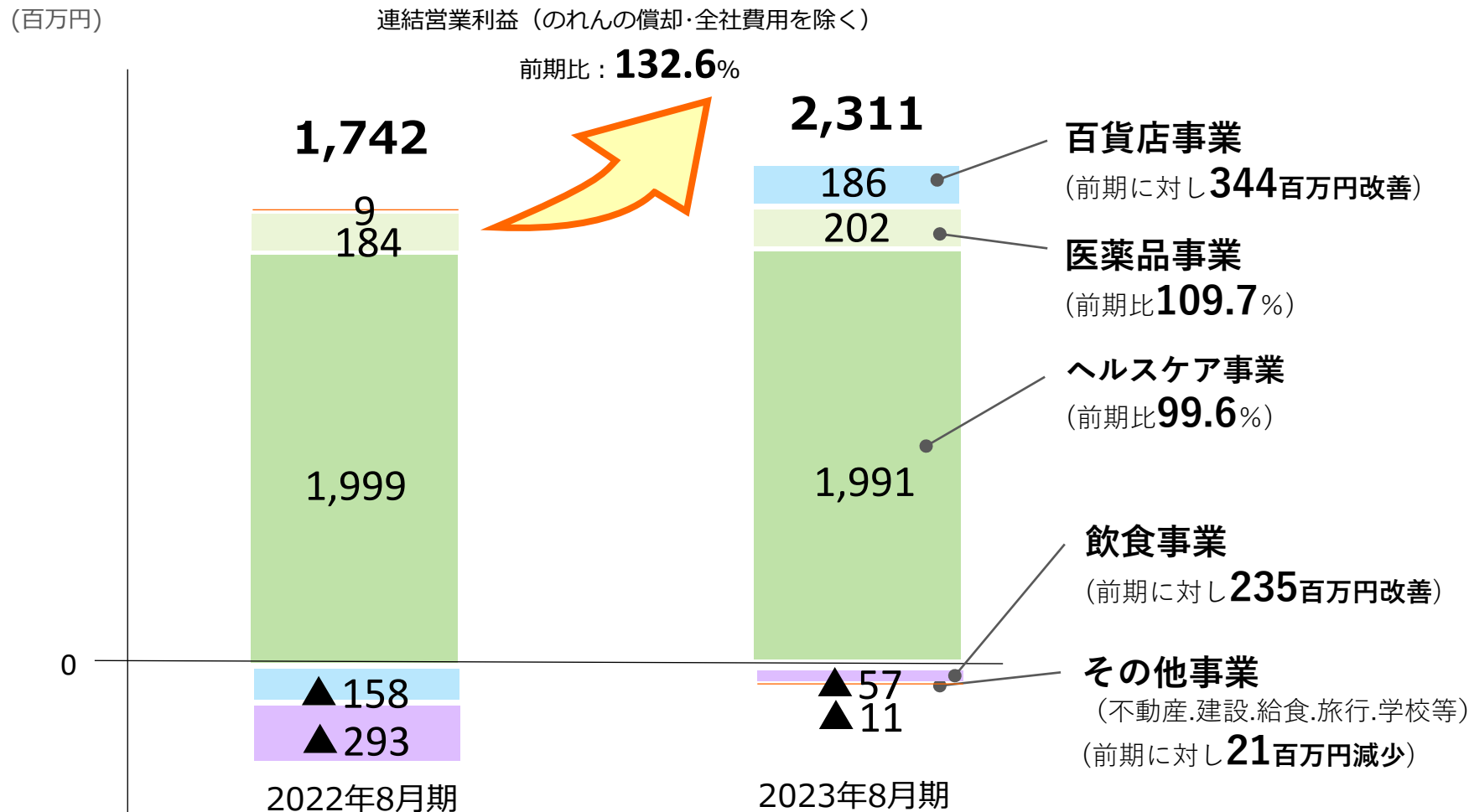
ヘルスケア事業：主軸のOEM部門は受注が増加、海外部門はコロナの影響が残るも回復の兆し

医薬品事業：ジェネリック医薬品と漢方薬OEM受注が好調

百貨店事業：創業150年記念セールとヤマダデンキ開店に向けた改装売りつくしセール、同店開店にて増加した入店客数による百貨店ゾーンとの相乗効果が、売上増に寄与

飲食事業：コロナ影響減により、個人客を中心に来客数が増加、第3四半期以降は法人客・観光客も回復傾向

事業別 営業利益【連結】



※セグメント利益には、のれんの償却（2022年8月期：152百万円、2023年8月期：160百万円）及び全社費用（2022年8月期：574百万円、2023年8月期：514百万円）は除いています。

既存事業について

報告 と 今後の見通し

2023年8月期

■ 機能性表示食品全般の受注が増加

- ・ ダイエット (ブラックジンジャー・アフリカマンゴ等)
- ・ 関節ケア (プロテオグリカン・グルコサミン等)
- ・ アイケア (ブルーベリー・ルテイン等)

■ 外出機会の増加やインバウンド消費の回復等により店舗販売業の顧客における受注が増加

■ 昨年10月 千葉工場の改修工事が完了

千葉工場 (千葉県長生郡長南町) ▶



2024年8月期

■ 営業体制の強化により売上増を図る

- ・ 人材採用と若手営業人員の育成

■ 生産部門のD X 化

- ・ 製造帳票デジタル化 (投資額 5,000万円)
- ・ 生産管理システム更新 (投資額 1億7,100万円)

⇒ 省人化・標準化・品質トラブル防止等

■ 千葉工場 G M P 認定を取得

- ・ 2023年11月10日、公益財団法人日本健康・栄養食品協会が定める「健康補助食品GMP適合認定工場」の認定を取得



■ 千葉工場でのハラル認証取得を目指す

- ・ 2022年2月、国吉田工場 2 製品でNAHA取得済み
- ・ 千葉工場は取得難易度の高い BPJPH



NAHA ハラル認証マーク

- ・ 取得時期：2024年 3 月 目標



イスラム圏における売上拡大を図る

2023年8月期

【通信販売】

- 販売促進活動を強化している機能性表示食品が堅調に推移

【海外販売】

- アンチエイジング製品が流行となり受注が増加

【店舗販売】

- アフターコロナにより来客数増加及び催事・相談会等での販売強化
- 原材料高騰による製品価格転嫁
 - ・ 42品目を段階的に値上げ

シンガポール_ドラッグストア「ワトソンズ」内のAFC陳列棚▶



2019年9月発売「プラセンタサプリメント」
(税込15,120円→税込16,740円) ▶



2024年8月期

【通信販売】

- 機能性表示食品の販売強化

2020年2月リニューアル
「めぐみのルテイン30」▶

【海外販売】

- 大口顧客の受注回復

【店舗販売】

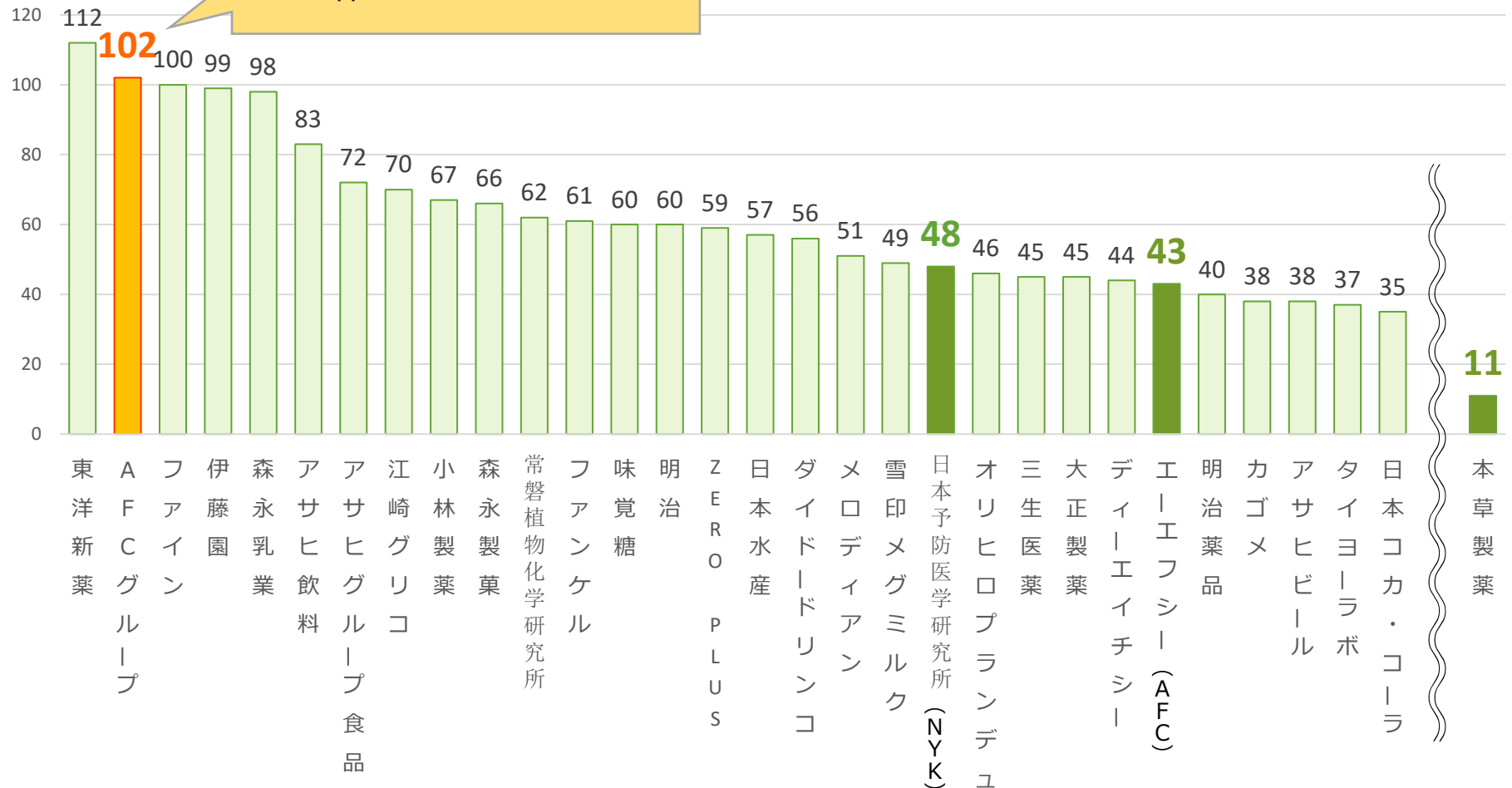
- 自社製品販売シェアの拡大
 - ・ キャンペーン目標の確実な達成
 - ・ セミナー、測定会で体験型イベントを強化
- 購買力のある外商顧客への販売強化



AFC(43)+本草(11)+NYK(48)
=102件

届出者別の届出数

【出所：消費者庁 機能性表示食品届出情報を
基に当社で作成】



■ジェネリック医薬品の好調

- ・ ピムロ顆粒（下剤）
- ・ シルデナフィル錠（ED治療薬）
- ・ フィナステリド錠（AGA治療薬）
- ・ タダラフィル錠（ED治療薬）



2017年11月発売



2014年9月発売



2016年12月発売



2020年4月発売

販売を強化してきた利益率の高いジェネリック医薬品の売上比率が高くなり、粗利益率が改善

■漢方薬のOEM受注が好調

- ・ 投資した医薬品の生産設備を活用
- ・ 稼働率が上がったことにより、粗利率が向上
- ・ 新規設備により、西洋薬への進出



八味地黄丸エキス錠



ヨクイニン錠



大柴胡湯エキス錠



安定的に黒字が出せる体制になった

工場用地を取得

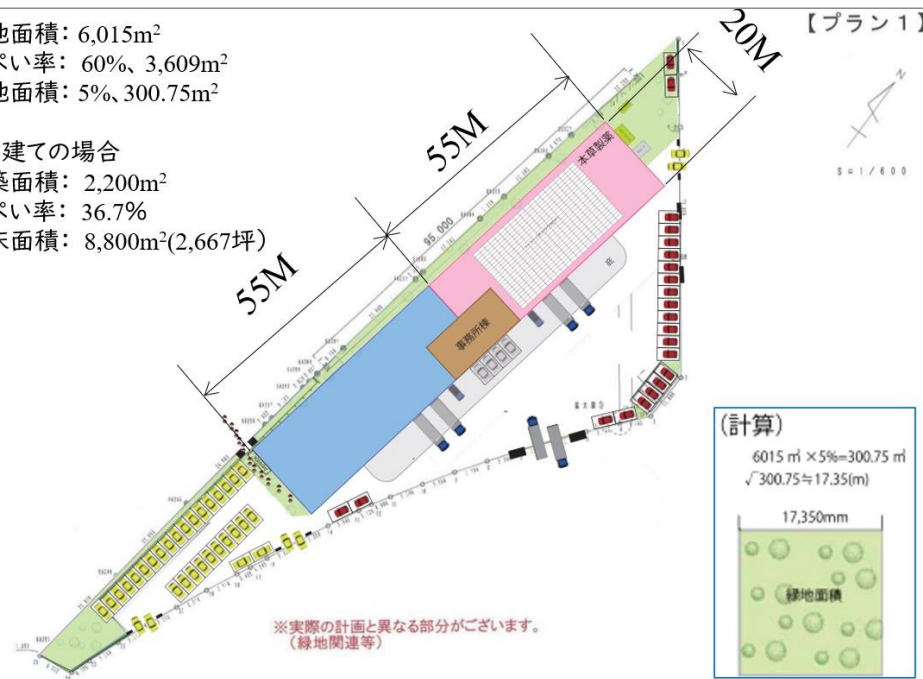
恩田原・片山土地区画整理事業

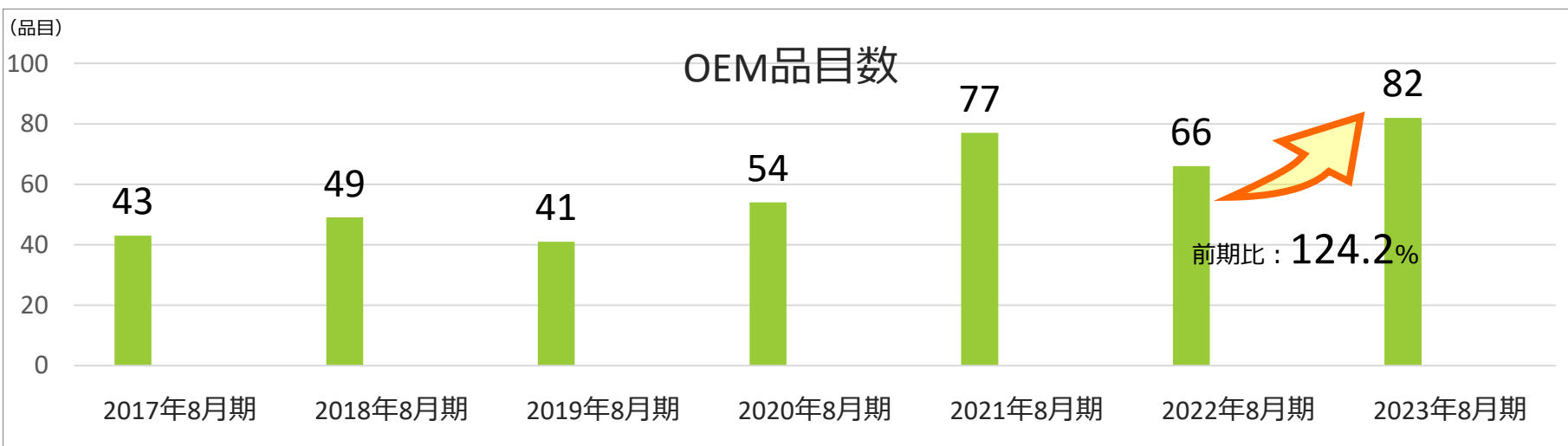
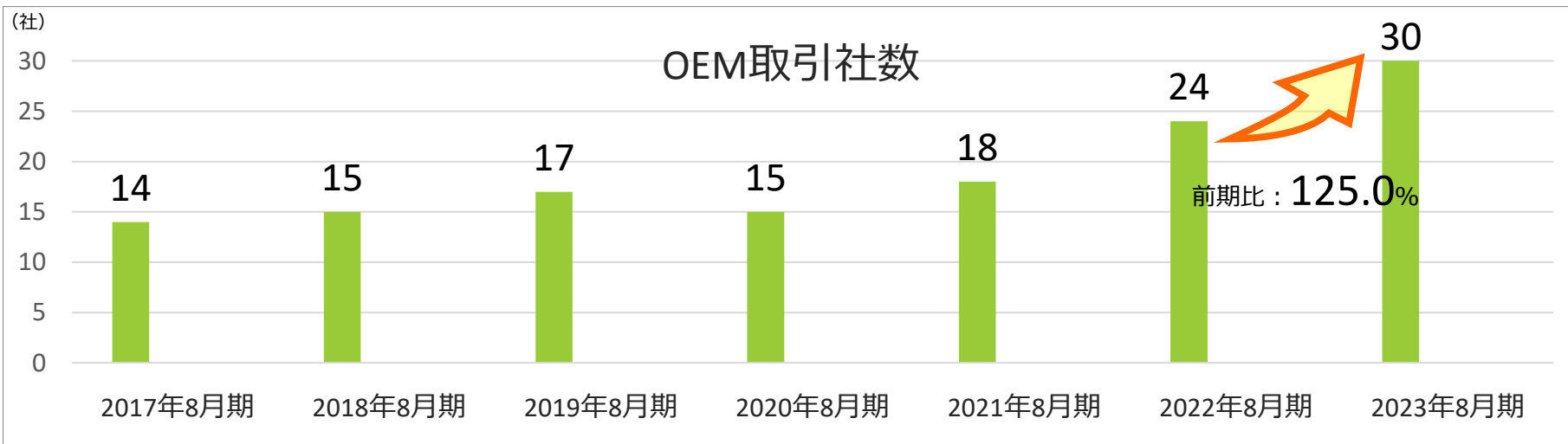


工場敷地内の配置図(案)

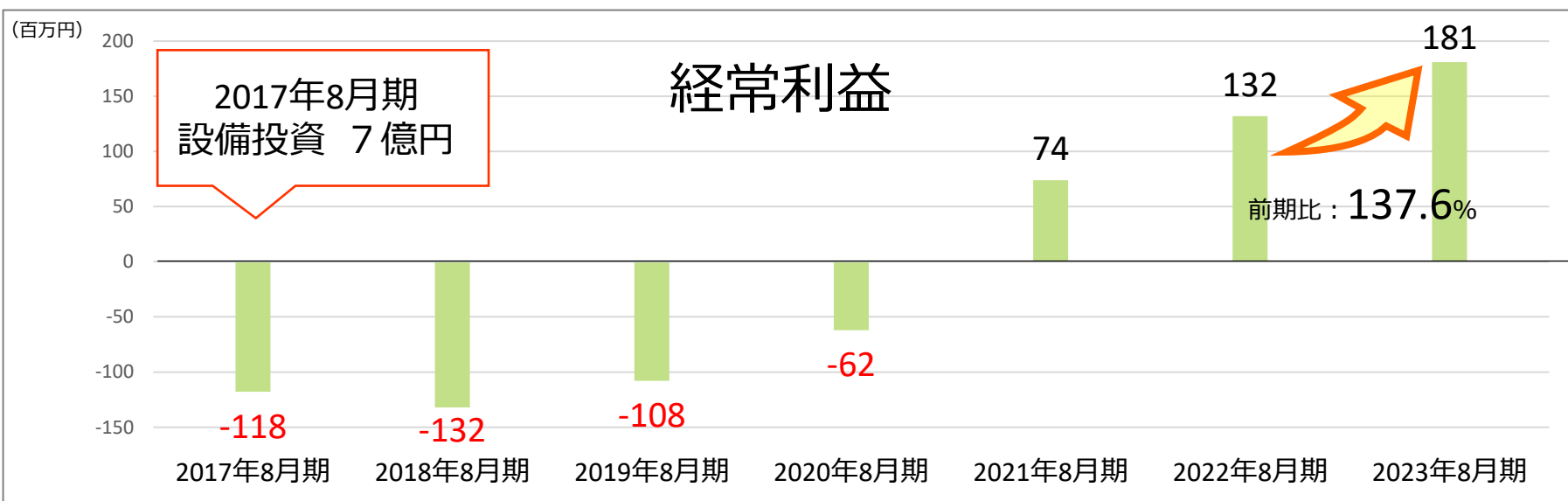
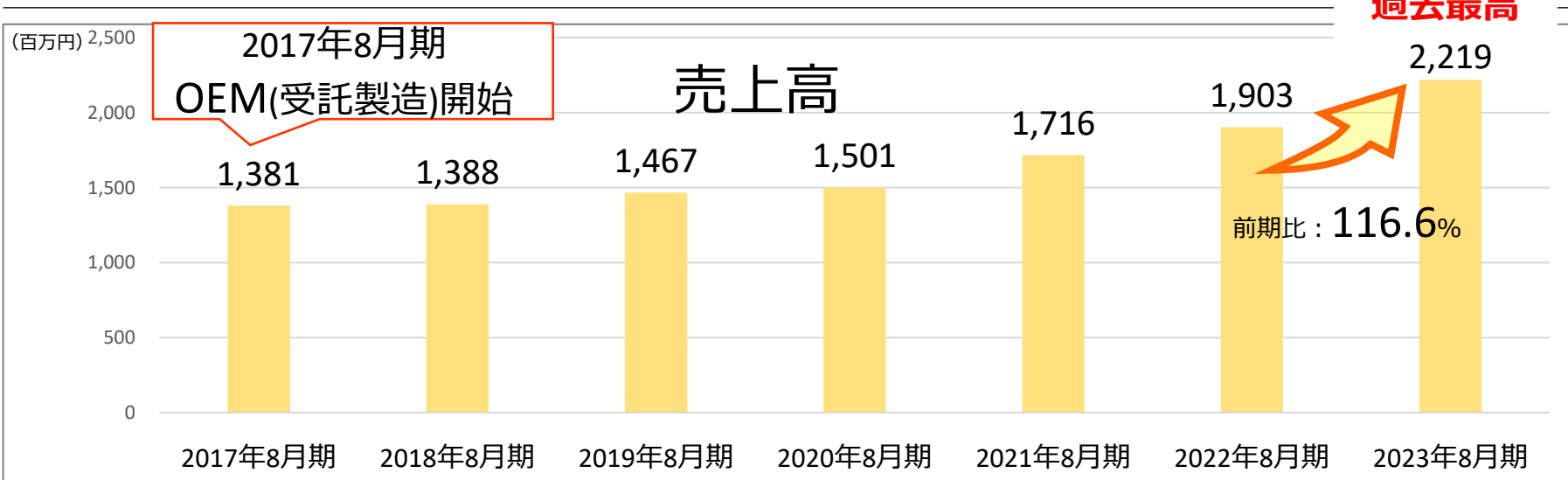
敷地面積: 6,015m²
 建ぺい率: 60%、3,609m²
 緑地面積: 5%、300.75m²

4階建ての場合
 建築面積: 2,200m²
 建ぺい率: 36.7%
 延床面積: 8,800m²(2,667坪)





過去最高



2023年8月期：売上高 **52億400万円**(前年12カ月対比**109.9%**)

2023年8月期：営業利益 **1億4,900万円**(前年12カ月対比**3億900万円の改善**)

さいか屋は、抜本的な経営スキームの改革による黒字体質への早期転換を目指し、その将来投資として事業構造改善費用を計上したが、それを上回る営業利益を叩き出し、**9期ぶりの黒字転換を達成**した。



▲藤沢店

■収益改善の施策

- ①借入金の支払利息を削減
- ②商品券の保証料を削減
- ③組織変更による役員数減に伴う役員報酬削減
- ④適正家賃による支払賃料の軽減
- ⑤歩率2%改善
- ⑥百貨店事業に加え、賃料収入を収益の柱とする

■6月2日 ヤマダデンキ 開店(4・5・6・7階)により入店客数が増加
百貨店ゾーンとの相乗効果に加え、賃料収入が拡大

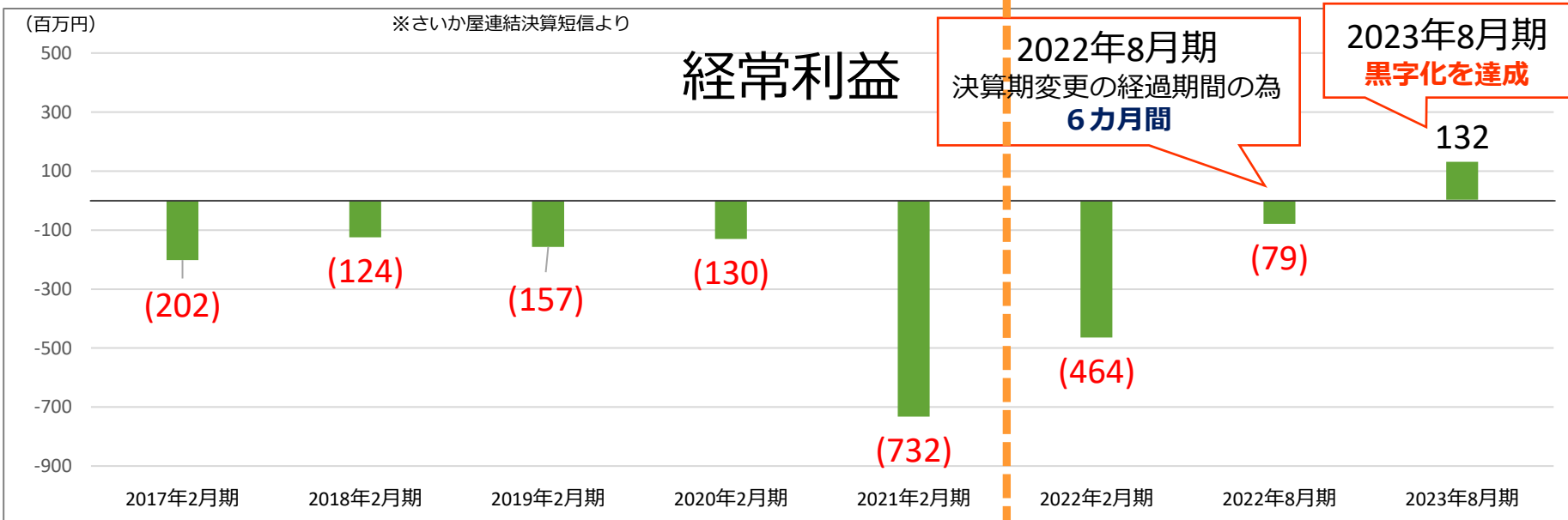
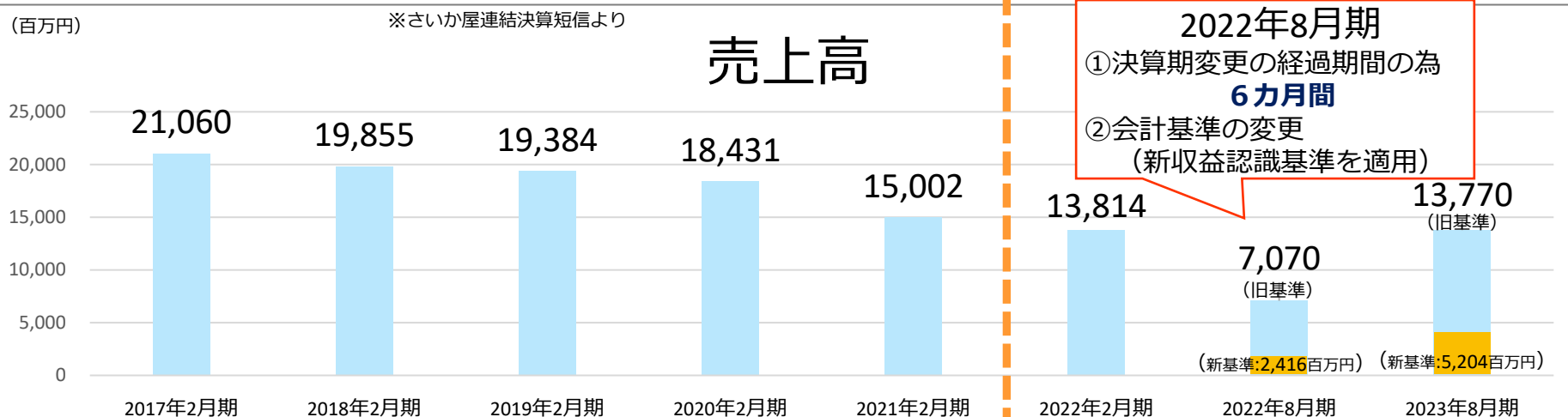


2024年8月期

- 【継続】ヤマダデンキの集客力による百貨店ゾーンとの相乗効果
- 2024年3月下旬、横須賀店の地下1階にヨークフーズ 出店予定
有力店の集客力による相乗効果を生かしするとともに、収益拡大を図る

横須賀店▶





* 2023年8月期：決算期の変更有

2023年8月期：売上高 **14億8,200万円**（前期比**161.1%**）

2023年8月期：営業損失 **▲5,700万円**（前期に比べ**2億3,800万円の改善**）

【売上】

- 各店舗において個人客を中心に、来客数が回復傾向

特に、昨年12月は大幅に客足が増え、売上増

茄子の花 無庵▶



▲なすび総本店

- コロナ5類移行間近の3月より、法人関係の宴会や会食需要が増加

- 5月以降、観光需要等により大型店舗等がコロナ前（2019年度）に迫る売上まで回復

【利益】

- 集客、経費コントロール、原価の高騰に伴う価格の見直しにより改善が進む



2024年8月期

- 【継続】個人客・法人客・観光客の来客数回復による売上増

- 新規オープン（12月:さいか屋横須賀店南館3階、1月:静岡駅南）予定

さいか屋横須賀店南館3階：天ぷらと手延べそうめん『あさやま』

静岡駅南：和食と寿司『一ふじ二たか』1F和食、2F寿司

『一ふじ二たか』
静岡駅南口から徒歩3分▶



さいか屋横須賀店南館3階：天ぷらと手延べそうめん『あさやま』



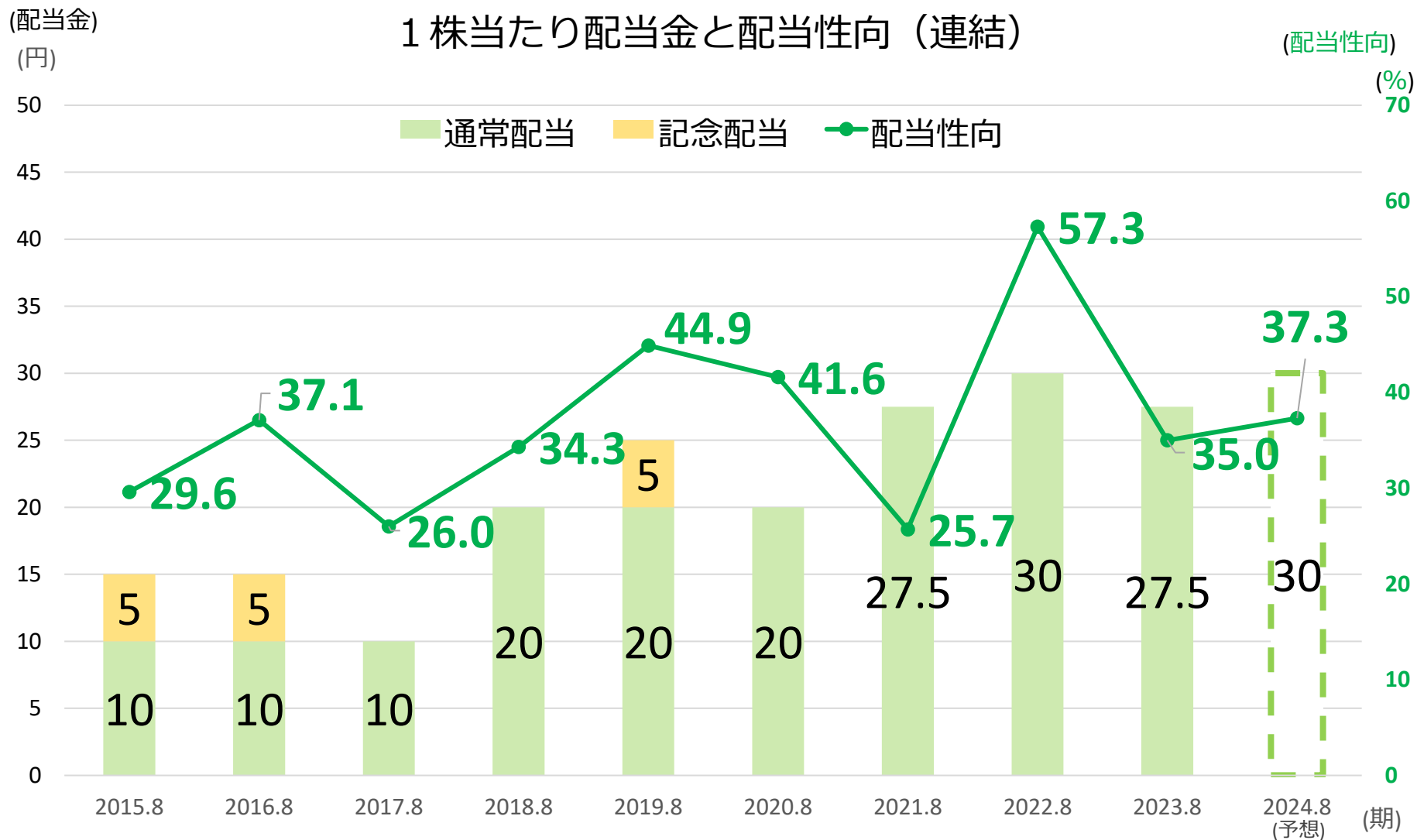
業績予想

2024年8月期 連結予想

(単位：百万円)

連結	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	23,024	25,579	28,455	111.2%
営業利益	1,015	1,636	1,801	110.1%
経常利益	1,343	1,654	1,788	108.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	735	1,102	1,123	101.9%

株主還元～配当について～



最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



本資料に関するお問い合わせ

会長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5139

E-mail : ir-ams@ams-life.com

URL : <https://www.ams-life.co.jp/>

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述している将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

新規事業について

創業者 永世名誉会長

浅山 忠彦

ボーイズ ビー アンビシャス

Boys be ambitious

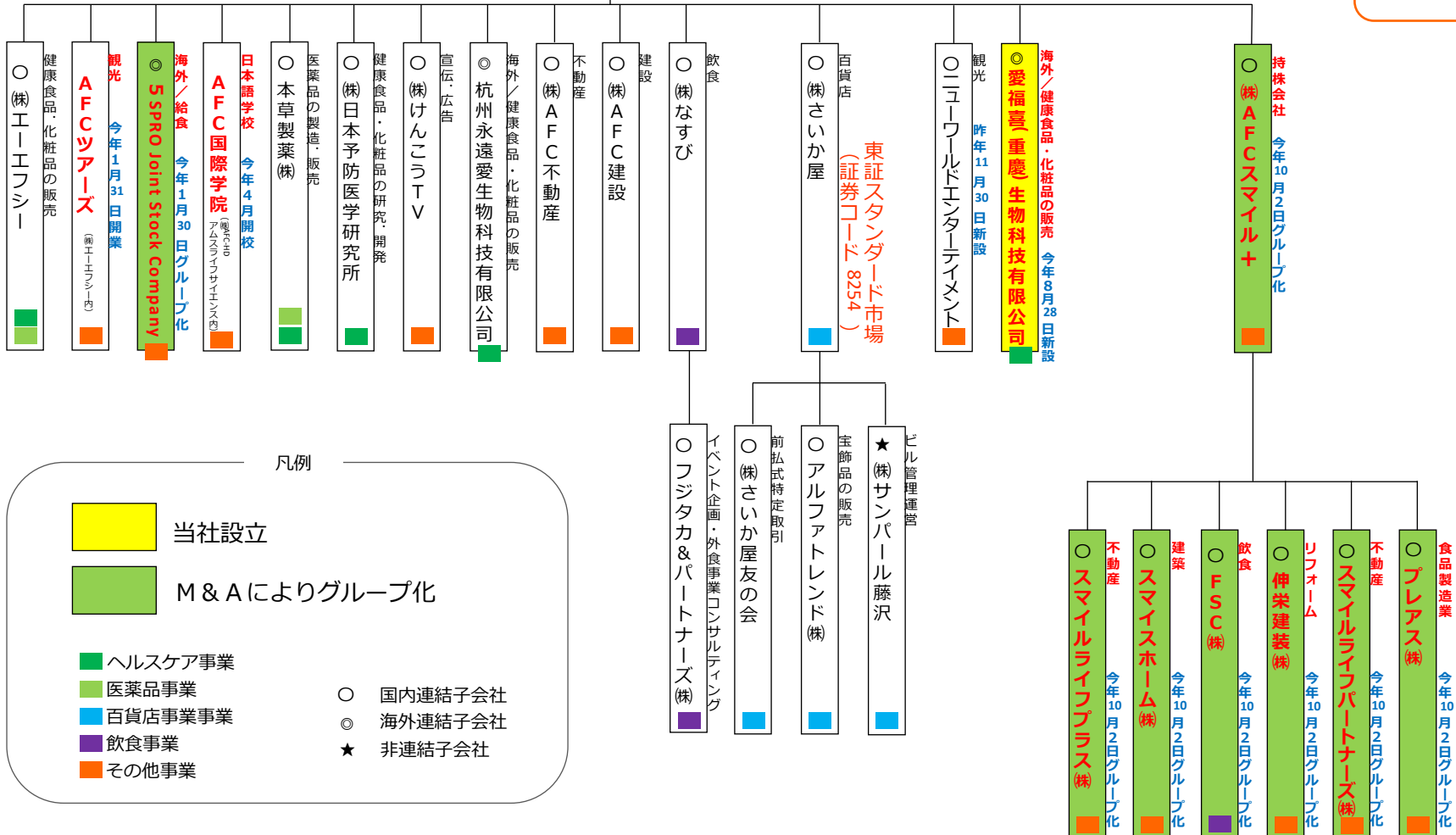
少年よ 大志を抱け

AFC-HDグループ

健康食品・化粧品製造 東証スタンダード市場上場（証券コード 2927）

【当社】(株)AFC-HDアムスライフサイエンス ■

25社



凡例

当社設立

M & A によりグループ化

■ ヘルスケア事業
 ■ 医薬品事業
 ■ 百貨店事業
 ■ 飲食事業
 ■ その他事業

○ 国内連結子会社
 ◎ 海外連結子会社
 ★ 非連結子会社

新たな事業 ～国際化に向けて～



(イメージ図)

- 2018年 3月16日 校舎竣工
- 2022年11月 4日 認可を取得（法務省）
- **2023年 4月 1日 開校**
- 定員：80名（4月期生20名、10月期生60名）
- 目標：高度な日本語能力の取得
（日本語能力試験 N 1 ・ N 2 に合格）



大学・専門学校への進学を支援

将来、当社への入社を希望する学生について

海外進出のために、現地幹部候補となる人材を育成



海外における競争力をつけ、AFCブランドの更なる飛躍を目指す



▲ 入学式 2023年4月期生



▲ 入学式 2023年10月期生

■ 2022年12月 旅行業の認可取得

■ 2023年1月31日 開業・第一弾 韓国ツアー販売開始

■ 集客方法

- ・ 地元新聞やタブロイド誌等に広告出稿
- ・ AFC通販顧客へチラシ同梱

第一弾、ソウル4日間（2/25～2/28）

* 40名枠を超える申込があり大盛況 ▶

■ 今後の展開

- ・ 地元中心からさいか屋顧客等の富裕層向けツアーも企画し、事業拡大を図る



▲ 2023年9月13日 静岡新聞 広告掲載



▲ AFC通販顧客向けのチラシ

■ 2023年1月30日 グループ化

- グループ化の目的：今後の当社グループ国際化への足掛かり
- ベトナム(ハノイ) にて給食事業を展開

顧客学校数	45校
工場数	2工場、5サテライトキッチン（校内キッチン）
売上	年間3億円
営業利益	年間1,300万円
のれん	1億1,000万円（10年償却_年間1,100万円）

【今後】

- ・ 需要拡大につき、現在ハノイ近郊に、第三工場を計画
総工費 約 3,600万円、年商 2 億円 見込
（※新工場建設資金等は、親会社からの借入金を充てる）
- ・ 産業給食分野への進出（日系企業の入る工業団地など）
- ・ 5SPRO社となすびが連携し、ホテル・レストラン事業を計画
- ・ ベトナム国内に健康食品・化粧品の販売を計画



新たな事業 海外販売〔中国〕

爱福喜（重庆）生物科技有限公司

■ 2023年8月28日 新設

■ 社名：爱福喜（重庆）生物科技有限公司

■ 事業内容：健康食品、医薬品の販売

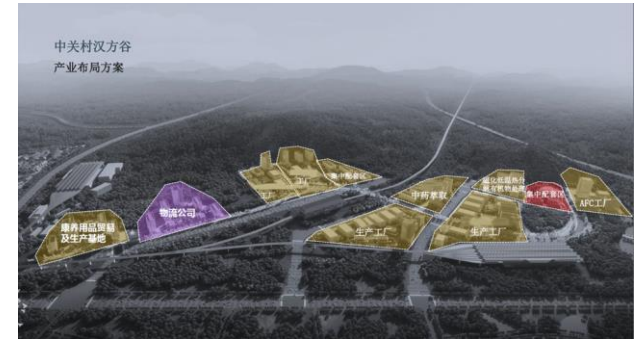
■ 所在地：中国重慶市璧山区 ■ 資本金：6,000万円

■ 設立の経緯

璧山区において、産業パークプロジェクトが発足し、ライフケア（医療・医薬・介護・漢方・健康食品等）に関する日本の企業や製品の誘致が開始された。璧山区は、様々な優遇政策を提供する。当社はこのプロジェクトに参入した。

【今後】

■ 自社グループ製品を中国で販売し、販売増大後は産業パーク内に生産工場を建設する



▲産業パークの建設イメージ図



▲8月2日 重慶市璧山区及び中間村漢方谷との調印式

■ 社名：杭州永遠愛生物科技有限公司〔2019年5月14日設立〕

■ 事業内容：健康食品・化粧品の販売、原料・資材の仕入

■ 所在地：中国浙江省杭州市 ■ 資本金：1億円

【今後】

■ 原料・資材の仕入に加え、自社グループ製品を中国で販売する



▲9月11日 産業パーク視察

A F C不動産

■ (株) A F C不動産

2021年3月 新設

①不動産業

②(株)さいか屋 及び (株)なすびの
再開発も含め、グループ資産
の活用・保全のため



A F C建設

■ (株) A F C建設

2021年10月 新設

①建設業

②グループ資産の改築・新設など
グループ資産の保守



新たな事業 不動産・建築・飲食

プラス
(株)AFCスマイル+

■ 2023年10月2日 グループ化

■ 浜松市を中心に、不動産事業、建築事業、飲食事業等を展開（8社:組織図参照）

■ グループ化の目的：当社既存事業に、不動産事業、建設事業、飲食事業がある
両社間でのノウハウ、顧客基盤の拡大等、シナジー効果が図れる

連結売上高 (2023年5月期)	45億7,700万円
連結営業損失 (2023年5月期)	▲1億1,200万円
連結総資産 (2023年5月期)	21億3,900万円
連結従業員数	約280名（うちアルバイト約120名）
クレアライズ(株) 株式取得	取得日 2023年10月2日 取得株式数 1,000株 取得価額 1円
みなし取得日	2023年11月30日

